



附属小のマスコット・キャラクターが決まりました！平和で一人一人が輝く学校という願いが込められています！

令和5年度 附属小学校だより

スマイル³ふぞく



第1号 令和5年4月24日（月） 校長 古野 祐一

今年度の発信者は、この4人です！

- ・教頭2年目。子ども・保護者の相談等に親身に寄り添う「橋田教頭」
- ・職員室2年目。時代の変化に敏感に対応する附属の感性「才木主幹」
- ・子どもの未来を見据えた授業づくりをマネジメントする「松尾教務主任」
- ・スマイル附属3年目。北斗の「飛躍」を目指す校長の古野でございます。子どもたちが思いっきり活動できるようになってきた今年度、北斗スマイルを、このメンバーで様々に紹介していきます。



校長：古野祐一



教頭：橋田晶拓



主幹：才木崇史



教務：松尾勇哉

「光窮6年」が、早速に動いています！

学校や下級生のために動く6年生の姿が、北斗の学び舎に活気をもたらしめています。「自分たちの学校は自分たちで創る」というリーダー6年生の矜持が、今年もしっかりと受け継がれています。6年生が、早速見せてくれた頼りになる三つの姿を紹介します。

- ① 附属と地域を磨く伝統の朝掃除。
- ② 1年生の給食準備と片付け、食べ方アドバイス。
- ③ 委員会を問い直し、やってみたい取組を考え挑戦する姿。

令和5年度も、学年目標「光窮」のリーダー6年生と共に、北斗の学校を盛り上げていきます。

学校評価の結果を今年度に活かします！

昨年度末に実施しました学校評価に御協力いただきまして有り難うございました。その集計結果と考察を裏面に掲載しておりますので御覧ください。

昨年度、重点としました挨拶、ルールとマナーについては向上が見られました。生きる上で大切な社会性の向上への取組は、引き続き継続していきます。

今年度は、家庭学習を含めた「ワクワクする学び」、「健康意識の向上」、「人を大切にする行い」等に重点を置き、北斗の子が更に輝く年になるよう、職員一丸となって躍動します！



① 真剣さが伝わる朝掃除



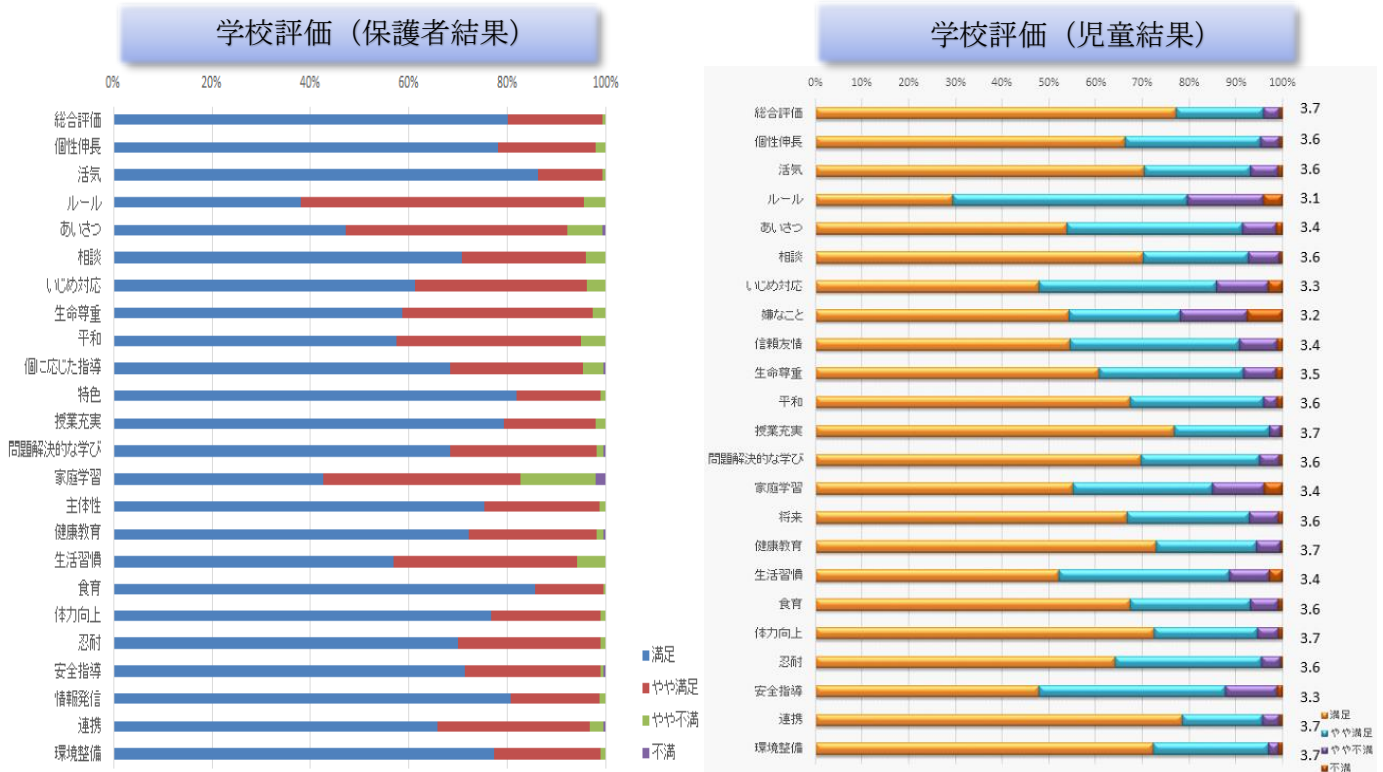
② 1年生のお手伝いをする6年生



③ 自分たちで考えた必要な委員会

※裏面に続きます！

2月に保護者・児童を対象とした学校評価（アンケート調査）を実施いたしました。調査への御協力、ありがとうございました。附属小では、経年変化を基に、対策の手掛かりを得ることから、これまでと同様に4段階評価中、3.3ポイント以上を達成レベルとしています。



【保護者の学校評価について】

3.6ポイント以上の高い評価をいただいた項目は、「総合評価」「個性伸長」「活気」「相談」「いじめ対応」「生命尊重」「個に応じた指導」「特色」「授業充実」「問題解決的な学び」「主体性」「健康教育」「食育」「体力向上」「忍耐」「安全指導」「情報発信」「連携」「環境整備」の19項目です。

また、昨年度との比較で評価が上がった項目は、「総合評価」「個性伸長」「活気」「あいさつ」「相談」「生命尊重」「特色」「授業充実」「主体性」「食育」「忍耐」「情報発信」「連携」「環境整備」の14項目です。下がった項目は、ありませんでした。

北斗の子の主体的な学びと笑顔あふれる学級経営を大切に、附属学校としての使命を果たす本校の営みについて、保護者の皆様の御協力をいただいたおかげと感謝申し上げます。

しかしながら、「家庭学習」については、3.2ポイントとなっており、達成レベルを下回っていました。日々の授業と家庭での学習のつながりを明確にし、子どもが家庭においても主体的に取り組むことができる学習内容や方法について検討してまいります。

また、ルール遵守の意識・言動の向上ならびに対人関係の円滑化等に、なお一層の取組を行います。

【児童の学校評価について】

3.6ポイント以上の高い評価だった項目は、「総合評価」「個性伸長」「活気」「相談」「平和」「授業充実」「問題解決的な学び」「将来」「健康教育」「食育」「体力向上」「忍耐」「連携」「環境整備」の14項目です。

また、昨年度との比較で評価が上がった項目は、「個性伸長」「ルール」「あいさつ」「いじめ対応」「嫌なこと」「信頼友情」「授業充実」「健康教育」「生活習慣」「食育」「体力向上」「忍耐」「連携」「環境整備」の14項目です。

全体で見ると、「ルール」「嫌なこと」が、達成レベルに届いていない状況です。昨年度に比べると改善はできていますが、皆がスマイルで幸せになるためには、更なる工夫が必要だと考えています。また、「生命尊重」と「安全」の2項目は、昨年度と比べ評価が下がっています。北斗の子の意識が向上し、実際に行動できるようにするために、改善に向けた取組が必要です。

そこで、相手意識をもって行動することや、いのちの大切さについて、繰り返し指導を行うこと、教職員が一丸となり、複数の目で見守りながら、皆で関わることを更に進めてまいります。

これからも、子ども一人一人が明るくなり、心からの笑顔あふれる学校を目指し、進んでまいります。